

文化奨励賞

本町の文化振興・発展に貢献し、将来が嘱望され奨励に値する個人・団体。

聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部

代表 鈴木 幸 榮

流派設立当初から25年の長きにわたり、詩吟・剣詩舞を通じた日本古来の伝統文化の継承に力を注ぐと同時に、青少年への指導を通じ、青少年健全育成にも寄与しているところである。

所属会員の日頃の鍛錬の結果、近年は老若男女を問わず、各種全国・全道大会で上位入賞を果たすなど、目覚ましい成績を収めている。

今後のより一層の活躍を期待し、文化奨励賞を贈呈するにふさわしい団体である。



川上シンフォニア・ウインド・アンサンブル

代表 阿 部 良 明

弟子屈高等学校吹奏楽部OBが中心となり発足。主に弟子屈町・標茶町内に住む吹奏楽愛好者が30年以上も継続して、地域の垣根を取り払い、演奏活動のみならず慰問活動や学生への演奏指導などを通じ、川上郡内の吹奏楽による地域文化の向上・発展、青少年育成に貢献していることは、住民にもよく知られているところである。

今後のさらなる活躍が期待されることから、文化奨励賞を贈呈するにふさわしい団体である。



在住功勞

現に50年以上本町に在住し、年齢77歳を超え、長年にわたり福祉向上や産業の振興に努められたとともに、地域発展のために貢献された方。

(50音順)

- 奥 蝦内氏 伊一板石石池猪猪有秋
- 村名海家藤條倉原原田狩狩貝山
- 和夕晃哲明 千盛鉄 ミ壽一
- 子ヨ一夫彦 エ良二 勉ワ郎男
- 館武竹高相瀬住須鈴鈴鈴菅沢澤佐礼佐々齋齋近黒倉木菊川鎌金加折小野
- 田山田橋馬原田藤木木木木原木入藤木木藤田藤野田田地池原田子藤手寺
- 容喜仁博 務浩稔 照幸恵 みつ 隆慶ゆり祥清信正富直靜昭満 京貞孝カヨ重松栞
- 子郎子海 枝榮子江 子子子 子子子 子子子 子子子 子子子 子子子 子子子 子子子
- 故古川 故小邊 渡邊 渡邊 横田 横川 山本 山本 山口 野谷 山上 岡野 田川 瀬本 間栗 田田 中村 澤田 井谷 谷葉中
- キノ恵美子 昇子 孝多美武 芳キキマサき政キ勇 せ貞政明範宮靜貞千 子輝政嗣 守正勇 子ノ雄和雄 子一代 孝ノ雄和雄 子一代 孝ノ雄和雄

文化賞

本町の文化振興・発展に著しく貢献された個人・団体。

水 越 武

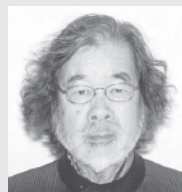
フリーの写真家として世界的にも有名な山岳写真家で、多くの作品を世界に発信している。

1996(平成8)年に発刊された写真集「カマイの森」では、道内の山脈や屈斜路湖周辺の樹木を、鋭い切り口でとらえている。

地域に目を向けると、2006(平成18)年に道立釧路芸術館で開催された写真展「大地への想い」では、作品展示のみならず、弟子屈町をフィールドとした「親子撮影会バスツアー」企画の講師としても参加し、写真の魅力を伝えている。

(社)摩周湖観光協会主催の「フォトコンテスト」では、特別審査員として当町の写真文化発展と観光地である当町のPRに力を注いでいることは、住民の多くが知るところである。

平成20年度芸術選奨文部科学大臣賞をはじめとしてさまざまな賞を受賞されており、本町においても文化賞を贈呈するにふさわしい人物である。



勝 山 源 三

弟子屈町文化協会監事2年、副会長10年、会長12年の計24年間にわたり役員としての重責を担った。さらに、弟子屈町文化協会・弟子屈町生活文化連盟・川湯文化協会の類似3団体を統合し、新たに「弟子屈町文化協会」を設立するに当たっての尽力は、他に類を見ないものであった。

また、単位文化団体活動としては、1983(昭和58)年から2008(平成20)年までソシアルダンスクラブ会長として、長年にわたり社交ダンスの指導を行うなど、その献身的行動力・統率力は感服に値するものであり、労苦に敬意を表する意味でも、弟子屈町文化賞を贈呈するにふさわしい人物である。



産業功勞

本町産業の発展に顕著な功勞のあった方

鈴木 好 美

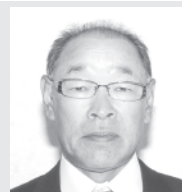
1986(昭和61)年4月に旧弟子屈農業協同組合理事に就任以来、2004(平成16)年6月まで7期18年在職。1993(平成5)年からは組合長を務めた。

任期中には、町内農協合併に積極的に取り組み、組合員の意識高揚を図るなど、指導力を発揮された。



井 上 完

1987(昭和62)年7月、第13回農業委員会委員選挙において初当選以来、4期12年間にわたり農地行政の適正な運営に努めるとともに、農業委員として農地移動の適正化と農地の有効利用、集積を促進し、担い手農家の育成に尽力され、本町の農業振興の発展に貢献された。後期は農業委員会会長代理として会長をサポートし、委員会業務の適正な執行に寄与された。



善行表彰

町民の模範となる善行のあった方、および公益のため多額な私財を寄附された方。

小 澤 重

2008(平成20)年から2011年にかけて、現金計100万円を学校教育と教育振興、奨学資金に役立ててほしいと寄附された。

(平成20年度～平成23年度受納)



合 田 馨 子

父母が生前お世話になり、今後利用する予定のない土地411.12㎡(評価額266万円)を、公共の用地として活用してほしいと寄附された。

(平成22年10月1日受納)



町の発展と町民の皆さんの幸せのために、長年にわたりご尽力をいただいた方々の功績をたたえる、平成23年度弟子屈町表彰式が11月3日、町社会老人福祉センターで開催されました。この表彰は、町の行政・経済・産業・文化などの各分野にわたって、町の振興と発展に寄与された方々に、表彰状・記念品などを贈呈し、その功

長年の功績に感謝 弟子屈町表彰式

績をたたえるものです。今年度は、産業功勞2人、善行表彰3人、在住功勞82人、文化賞2人、文化奨励賞2団体を受賞。式では、徳永町長と小澤教育委員長から一人一人に賞状が手渡されました。(敬称略)受賞者の皆さんを紹介します。

※広報紙での紹介を了承された方のみ掲載しています。

